

## TOPICS

鳥取営業所開所3周年

お客様紹介：有限会社サンハートアイ

松江市危険物保安協会先進地視察

今月のプレゼント：島根県産新米

## さまざまな人によい縁をいただく



緑に囲まれた鳥取営業所

## 人の縁

今月、鳥取営業所が開所してから丸3年になりました。約半年間の準備期間を終えて、平成24年7月24日に開所式を行ったことがついこの間のことと思えます。そして、これまでの経緯を考えると色んなことが有り、濃厚な3年であったと感じました。

鳥取東部への拠点進出が決まった時、鳥取東部地区は、当社にとって減少地区になっており、とても良い状態とは言えない時期でした。自分ならその減少を挽回できるという強い思いと、現状より状況が悪くなったらどうしようという、不安の中でスタートしたのを覚えています。

開所当時はものすごい忙しさの中で過ごし、また結果も思ったほど上がらない状態でした。そんな状態をしばらく続けていると、

不思議なことに、自分を助けてくれる人がぼつぼつと表れ始め、お客様の紹介をしてくださったり、困っていることを教えてくださったり、社外の人たちが応援して下さるようになりました。人の縁が広がり、多くの人脈を作ることができました。

よく「人の縁」を大切にしろと言われてますが、この時ほど「縁」の大切さを実感したことはありません。何となく自分一人のできることと思い活動をしていましたが、それは多くの人によって支えられているということ、身を以て感じた出来事でした。

これからも、「人の縁」を大切にしてい日々の活動に励み、鳥取での実績を伸ばしていきます。

(大國)

## お客様紹介

### 有限会社サンハートアイ 様

〒699-1822

島根県仁多郡奥出雲町下横田99-2

TEL 0854-52-9700

FAX 0854-52-3121

#### 地域密着

燃料油販売から車両点検・車検整備・車販売まで、車に関することならすべてお任せ下さい。車の「ゆりかごから墓場まで」、トータルにメンテナンスを行っています。

給油は、セルフ方式や、給油が苦手なお客様にはフルサービスで対応し、女性やお年寄りに評判のお店です。

地域がら、動くものは何でも修理し、草刈り機や農機具など、お客様の困りごとをお聞きし、地域密着で、できる事は何でも請け負います。お客様は顔なじみの方がほとんどで、地域の皆様に親しまれています。

#### 緊急対応

バッテリー上りや鍵の閉じこみなど、夜中に現場へ急行・対処し、お客様に大変喜んでいただきました。（中西様談）

また、大雪の日、凍り付いた夜9時ごろ、椎茸ハウスから給油要請があり、雪の上をホースを伸ばして給油したこともあります。お客様には、「助かった!」と感動していただきました。（井上社長談）

#### お得な情報!!

当店には次のような特典があります。

- ★タイヤ購入のお客様には、  
GS・軽油 2か月間 5円/L引き
- ★車検を受けられたお客様には、  
GS・軽油 4か月間 10円/L引き
- ★車購入のお客様には、  
GS・軽油 6か月間 10円/L引き



井上社長と立石様、中西様（写真左より）。

井上社長は、昨年亡くなられた前社長から社長職を引き継がれました。とても勉強家で、読書が趣味ということで、幅広いジャンルに興味をお持ちです。

立石様は在籍9年、何でもこなせるベテランです。中西様は地元消防団に入り、地元の若い人たちとの交流が盛んです。二人ともお客様から、「あんちゃん」と呼ばれ、親しまれています。

#### お客様第一

井上社長は、お客様とお話することをとっても大事にしています。どんな小さなことでも相談にのり、当社でお直します。新車でも中古車でも提案していきたいと考えます。お客様を第一に考え、気軽に立ち寄れるSSでありたいと考えます。

「若いスタッフで元気で活気のあるSSです。困ったことがあれば何でもご相談ください。」と、井上社長から力強い言葉をいただきました。（聞き手長野）



立石様と中西様は、タイヤコンサルタントとして、認定されています。タイヤのことなら何でもお任せください。

#### 奥出雲情報

奥出雲町は、古事記、日本書紀の八岐大蛇（ヤマタノオロチ）退治や、素戔鳴尊（スサノオノミコト）が降臨したと伝えられる出雲神話発祥の地であり、古くから「たたら」製鉄で栄え、今でも世界で唯一、古来からの「たたら」操業を行い日本刀の原料となる「玉鋼（タマハガネ）」を生産しています。また、仁多米、仁多牛、奥出雲椎茸、奥出雲酒造などの地域ブランド化による産業の振興がはかられています。毎年、11月には、新そば祭りが開催され、大勢のファンが全国から集まります。

## 松江市危険物保安協会先進地視察 (コベルコ建機五日市工場)

平成27年7月31日に松江市危険物保安協会主催の先進地視察にコベルコ建機五日市工場を視察しました。五日市工場では40～220トンの油圧ショベルを生産しています。部品の荷受けから製缶、塗装、組み立てテストといった生産の一連のラインを視察させていただきました。普段見ることのない大きな油圧ショベルの生産は部品ひとつ見てもとても大きく、重量感のある部品を組み立てていく様子はとても力強さを感じました。

私が今回の視察で特に感心したところが3つあります。

第1に感心したことは、五日市工場の柱や床を白色塗装にしていることです。他の整備工場では大体緑色の塗装がしてあり、工場内の汚れが目立たないようにしてあるのが一般的だと思います。しかし、五日市工場ではあえて白色に塗装をすることで、汚れを逆にめだたせ清掃を促すことで清潔を保つことができていることを知りました。また、白色は光を反射させるので、工場内の電力を抑えても明るさを保つことができます。省エネにも貢献しています。

第2に感心したことは、視察コースのところどころがQCサークル活動や危険のポイントを教える展示をしてあったことです。QCサークル活動は約30班で半期ごとに行われ表彰や賞金があるので、ど

の班も改善活動を懸命にされている様子が良く伝わりました。危険のポイントではここは死に至るところでとても危険であると



油圧ショベル模型

わかりやすく展示してあり、従業員に何が危険なのかをきちんと周知していました。また、ところどころに扇風機や給水場所、担架の格納庫などがあり、職場環境を整えてありました。

第3に感心したことは、従業員の皆様の挨拶です。視察者一人ひとりに頭をさげて、大きな声で元気よく笑顔で挨拶をされていました。自分の仕事を見られながら仕事をするだけでも大変なことだと思いますが、さらに気持ちの良い挨拶を返してもらいました。しっかりとした社員教育以上のものを感じました。まさにおもてなしの心です。

また、五日市工場は基本的に車での通勤を原則禁止しています。このことによりCO<sub>2</sub>を削減しています。株式会社日本政策投資銀行（DBJ）が実施する「環境格付」融資において、「環境への配慮に対する取り組みが先進的」という格付を、建設機械メーカーで初めて取得されています。環境保全もきちんと取り組んでいる素晴らしい企業でした。今回学んだことを当社でも生かしていきたいと思います。

(山口)

## 再生重油の高品質化について

平成26年度にオイルリサイクル協同組合からの委託で再生重油を高品質化する実験を行いました。

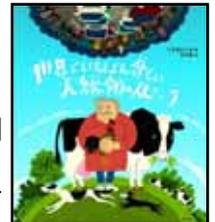
十分な成果とは言えないものの、一定の成果が得られたため、今年度も、引き続き組合より、製造と燃焼試験を委託されました。

今までは当社のみがこの実験を行っていましたが、本年度より、組合が研究会を立ち上げ、これからは組合員が協力分担して研究を進めていきます。組合員が一つの目標に向かい、知恵を出し合って、よりよい製品づくりに向かって行きます。そして、今までの大口の需要家とは違った、新しい需要家の皆様を想定して、その方たちに安心して使っていただける製品を追求し、広く普及していくように努めてまいります。今後は、組合員での実験の進捗や、感想も随時報告していきます。

どうかご期待ください。

(木村プロジェクトリーダー)

## 「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」 を読んで



この「世界でいちばん貧しい大統領」は国民から“ペペ”と呼ばれ、大変愛されています。給料の9割を貧しい人々のために寄付し、自分は必要最低限のもの（家・服・車など）で生活し、過剰なものを必要としていません。物に溢れ、必要なもの unnecessary の見極めのできない先進国の私たちには考えづらい選択です。

私は「片付けが大変」という理由から、あまり新しいものを買うことがありません。限られた今あるものをそれなりにケアして長く使うことが多くあります。また、代用品を使ったり、機械に頼らないという考えも少しは持っています。

この本に出会い“ペペ”のことを知り、私の考えは、今までの考えを土台にして少し変わってきました。ますます「消費」について、より考えを深めていこうと思います。「消費」は生活を豊かにしてくれるかもしれませんが、心を豊かにしてはくれないと思います。「自分の周りにあるものを大切にこわれるまで大切に。処分したくないけど、代わりのもがなければ自分が困る。お別れはしたくないけど、今までどうもありがとう。」何に対してもそういう気持ちをもっていきたいと思いました。そして、子供にもそう教えていきたいです。

(足立)

## 車両管理をもう一度考えよう

周りからお客さまから素晴らしいと言われる人と会社になる

常務 安原幸治

先日タンクローリー車（#105号車）のタンク後方に発生した錆修理のために塗装を剥いだところ、板厚が薄くなっているところがあり、急遽腐食箇所を補強する修理をしました。

放置しておけばいずれ穴が開き、流出事故にも繋がる危険な状態でした。

このあと、他の車両にも同様の危険箇所がないか一斉点検を指示したところ、点検した車両15台中、8台の車両に不備が見つかりました。その内の一台は同様のタンク腐食、もう一台はシャーシに亀裂が見つかり緊急修理を行いました。その他の車両についても錆によって塗装が浮いているところがあり、順次補修する予定です。今後の計画は、

#105号車・・・タンク本体の減肉、配管腐食部開孔  
（現在修理中）  
（8月中旬に完成検査を受けて使用できるようにする）

#112号車・・・タンク本体の減肉  
（#105号車の修理完了後直ちに改修する）

シャーシ修理済の車両を除く5台については、腐

食による塗装の浮きや剥がれがあるため、再調査を実施して、修理計画を立て9月末までに補修を終了する。

今回は事故が起きる前に発見されましたが、危険物車両が事故を起こしたときの被害は甚大であり、地域社会やお客さまに大きなご迷惑を掛けることになりま。当然運転していた社員も危険にさらされることになり、会社も存続の危機に直面します。

不測の事態が発生したときに、いかに被害を最小限にとどめてお客さま活動を再開させるかという危機管理は、会社にとって大変重要なことですが、起こさないことも同じく重要なことです。洗車時の目視点検や運行前点検、定期的なメンテナンスを徹底することで危険を予測し、不測の事態を減らすことで今回のような非常事態を起こす確率を下げることができるはずです。

今までのやり方を考え直す機会と捉え、もっと効果的な方法、もっと安全増しに、もっと安心できる方法に変えていきます。皆で考えて実行し続けることで、お客さまや地域から信頼される会社になります。

### 私はこう考え、こう実行します

【河上】今後は継続できる点検を行う。

【松下】運行前点検を継続するとともに、五感をさらに働かせ安全に繋げる。

【岸本】車両運転前に、車両の周りを一周して点検する。

【榎並】今まで以上に使用する資機材の点検を計画的に進められる様に日程調整します。

【山口】私は洗車をこまめにし、目視点検します。

【大國】発想を豊かに持って挑戦することを忘れない。

【吾郷】安全第一で車両をメンテナンスします。

【木村】V8タンクもV7タンク同様に清掃・補修します。

【木村憲】今まで良いと思っっていることをもう一度考えなおす。

【高橋】私は、報告・連絡・相談します。

【松本】車両点検を毎日行い安全最優先で作業します。

【長谷川】運行前点検、定期点検を徹底します。

【植尾】洗車時に車両点検を徹底します。

【小村】日頃の車両点検にかける時間を増やしてメンテナンスできる体制をつくる。

【藤原拓】安心して使っただけの廃油タンクを製作します。

【恩村】報連相を徹底し、問題に素早く対応できるようにします

【藤原大】事故やケガなどないよう、周りをよく見て、一度確認してから行動します。

【金森】日頃の運行前点検を徹底します。

【安達】洗車をこまめに行い、外観点検を強化します。

【野々村】車両の異常にすぐ気づくように、車のことを勉強します。

【宮北】今一度、安全運行のための点検を心がけます。

【清水】メンテナンス事業部の車

両点検をこまめにしていきます。

【松浦】自家用車においても日常点検を実施し、日々の運転をより慎重にします。

【石川】不備や故障などの不具合を見つけたときは、素早く対応します。

【福島】車内清掃の実施でゆとり運転を。

【中村】作業の中で、ムリ・ムダ・ムラがないかを考え、改善に努めます。

【足立】私は常に仕事に対し、見直し・改善を心がけます。

【藤田】「大丈夫、当たり前」という気持ちを持たず、初心を忘れず行動します。

【加藤】気付きの向上をはかる。

【長野】出発前後に車両を一周りし点検する。

### 松江市消防音楽隊の後援会

松江市消防音楽隊の後援会が開催され、演奏会が行われました。

昭和54年に発足した消防音楽隊は、消防の諸式典をはじめ 各種行事に出場し、演奏活動を通じて広く地域住民と接することにより、消防の認識を深めると共に火災予防に重要な役割を担っています。隊員の方々は20代から30代が8割を占め、とてもエネルギーに感じました。

多忙な日常業務の合間に練習をされるということですが、隊員の方々の一体となった素晴らしい演奏に心打たれました。

日々の業務で、私たちの安全で安心できる生活を守っていただいていることに感謝します。(長野)



### 地域の連携

松江市八幡地区災害防止協議会の総会が行われました。

昨年7月には、広島市での水害、9月には御嶽山での噴火など、自然災害が多発しましたが、幸い松江地方では自然災害は発生していません。折しも台風11号が本日(7月16日)未明から山陰地方に向かっており、暴風雨が予想されています。

このような災害に備えて、地元企業間の密接な災害防止体制がとられており、大変意義深いことだと感じます。毎年、消火器を使った消防訓練や緊急事態の通報訓練、先進地視察や防災に関する講演会など、充実した活動を行っています。

来年度は設立40周年の節目にあたり、記念行事を計画とのこと。

企業間の連携がますます強まり、無災害が続くことを祈っています。(長野)



## 鳥取営業所～information～



タンク内のスラッジを吸い取る長谷川社員と松本社員。これから、掃除がはじまります。

7月18日、屋外タンク清掃を行いました。初開放です。タンク内は腐食はなく非常に良い状態でした。タンクへ原料を注入する際、ストレーナーを通すので、スラッジや大きなゴミの混入もなかったようです。今後、タンクがいっぱいになるよう原料を収集し、タンクの定期点検を行っていきます。(大國)

### 元氣の出る言葉

中村天風師

体力、胆力、判断力、断行力、精力、能力

こころの態度が積極的でなければ、人間は価値高く生きることができない。  
肉体を鍛えるだけでなく、この六つの力をつくらなければいけない。  
力は学問や経験でできるものではなく、心の態度を積極的にする以外に方法はない。  
心を鍛えていくことが重要だ。

(長野)



「コオニユリ」近縁種のオニユリは中国から渡来したものです。違いは、本種は花が小さく、むかごがつきません。

**社長が薦める今月の一冊**  
**しなやかな日本列島のつくりかた**  
**自立した地元経済はこうすれば実現する！**



藤谷浩介対話集 新潮社

ベストセラーになった「里山資本主義」の著者が、「商店街」「限界集落」「観光地」「農業」「医療」「赤字鉄道」「まちづくり」という各テーマで、それぞれの専門家と対談。「自立した地元経済はこうすれば実現する！」を結論付けている。

自分の興味のあるテーマを選び、勉強してください。私がここで学びたいのは、会社をどうすればいいのか？です。先日尊敬する経営コンサルタント、中博先生の話をお聴きする機会に恵まれました。

中先生は松下幸之助翁から、経営の何たるかを直に教示された人です。ぼう大な情報から、世界経済の中の日本経済を例えられました。

私が失礼を恐れず言えば、日本経済の好況は、2020年オリンピックまでの残された「5年間」。その時世界経済で言えば、中国のGDPは、米を抜き世界一。

そしてそれから日本経済は、山陰の経済は、どうなるのでしょうか？もう5年しかないのか？まだ5年もあるのか？山陰はだめなのか？山陰だから打つ手はあるのか？

中先生が教えたかったこれからの考え方、打つ手は、1、大局を知る 2、強い意志を持つ 3、生かされていることに感謝する 4、自分は運がいいと信じきる 5、宇宙と一体になる 6、祈る、祈る、祈るです。そして、決断の器量とは 人間の器量=人間力 であると学びました。(山根)

**編集後記**

8月1日にNHK TVで放映された、プラタモリは、松江城築城の秘密や、城下町としてどのように栄えたか、歴史を知るうえで大変勉強になった。松江市民でありながら、その歴史に疎く、新鮮な情報が盛りだくさんであった。

一つ目の発見は、武家屋敷付近と松江城付近はひとつの尾根続きだったこと。亀田山といい、松江北高校付近まで同じ高さだったようだ。築城の際、尾根を掘割の様に切り崩し、低湿地の排水と膨大な盛り土を生み出している。

二つ目の発見は、堀川遊覧船から見える家屋には、一段低いものがある。舟入という舟を運んだ小さな水路の名残で船小屋があったようだ。小さな水路が現存している場所もある。以前、老松があったところで、船着の松と言われていた。

8月22日は出雲が放映予定です。是非皆様もご覧ください。問合せは弊誌編集部まで。(長野)

「君に成功を贈る」(中村天風)を購入希望の方は、弊社までお知らせ下さい。在庫数が少ないため、出版局から取り寄せてお届けします。  
 本代は¥1,800+税(税込1,944円)です。

**今月のクイズ**

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で2名様に**島根県産新米5kg**を差し上げます。クイズの締切は8月末です。奮ってご応募下さい。

Q: 9月1日は防災の日です。これは、過去に起こった大惨事を教訓に定められましたが、**年何**が起こったのでしょうか。



先月号の答は、「1929年」でした。  
 雲南市加本様、出雲市奥井様、出雲市陰山様が当選です。おめでとうございます。

**応募用紙(答)**

会社名または住所、氏名

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

**蔵書新着状況**

- ・田舎のパン屋が見つけた「腐る経済」 渡邊 格 講談社
- ・はじまりのストーリー ウエディングプランナーが出会った21の奇跡 八芳園TEAM FOR WEDDING 幻冬舎
- ・シズ 藩物語 松江藩 石井悠 現代書館
- ・松江城 石井悠 ハーベスト出版
- ・親子で学ぶ松江藩の時代～松江歴史館で見ると 宍道正年 山陰中央新報社



発行日: 毎月10日  
 発行: 690-0025 島根県松江市八幡町796-20  
 TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472  
 山陰興業(株) ECO'S通信編集部 長野  
 E-mail : h.nagano@e-skk.co.jp

印刷: 授産センターよつば 印刷係  
**ホームページ (http://www.e-skk.co.jp)**

**山陰興業蔵書本をお貸しします** 本誌で紹介した蔵書本を、広く皆様にお貸しします。  
 営業マンや当編集部に遠慮無くお申し付け下さいませ。